



華麗なる元禄絵巻、島田大祭

「帯祭り」としても知られる日本三奇祭のひとつ。大井川鎮護や安産の神として信仰される大井神社の祭りで、3年に一度10月に開催され、1695年(元禄8年)から続いています。大名行列を先頭に、太刀に金襴緞子の帯を掛けた大奴、悪鬼を倒す大鳥毛、子どもが扮したお殿様、約400kgの御神輿、疫病退散と五穀豊穰を祈る鹿島踊り、長唄屋台踊りなど総勢千数百人からなる行列が、旧東海道島田宿を練り歩きます。

The Shimada Grand Festival, a gorgeous picture scroll from the Genroku era

The Obi Festival, or "sash festival", is one of the three eccentric festivals in Japan. The festival is held at Oi Shrine, where the enshrined kami (god) is worshipped for protecting the Oi River and ensuring easy childbirth. The festival has continued since 1695, and is held in October, once every three years. The festival's procession consists of daimyo (feudal lords) in the lead, trailed by senior followers carrying obi sashes of gold-brocaded satin damask on long swords, a spear covered with a feather decoration for warding off evil spirits, children dressed as lords, a portable shrine weighing about 400 kg, and a procession made up of more than a thousand people performing Kashima Odori and Nagauta Yatai Odori dances to pray for protection from plague and an abundant harvest. The procession marches through Shimada-juku, a station of the old Tokaido road.

壮观的元禄画卷、島田大祭祀

“网带节”是日本三大奇节之一。这是作为大井川守护神和顺利生产保护神而受到信奉的大井神社的祭祀。该祭祀每三年一次，在10月分举行，从1695年一直延续至今。届时游行队伍浩浩荡荡，最前面是大名行列，后面是腰刀上挂有纹织缎子的大奴、击败恶鬼的大鸟毛、由小孩扮的大老爷、重约400公斤的神轿、祈祷祛病消灾、五谷丰登的鹿岛舞、长歌屋舞等，整个队伍多大一千数百人，在原东海道岛田驿站游行。

화려한 겐로쿠 역사 행렬, 시마다 대제

‘오비 마쓰리’로도 널리 알려진 일본 3대 기묘한 축제의 하나. 오이가와 강을 수호하고 순산을 관장하는 신으로 추앙받고 있는 오이 신사의 축제로 3년에 1번, 10월에 개최되며 1695년부터 지속되고 있습니다. 다이묘 행렬을 선두로 금실로 화려하게 무늬를 놓은 두꺼운 비단 띠를 두른 일본도를 허리에 찬 무사 앵굴, 악귀를 물리치는 오토리게, 어린이가 분장한 영주, 약 400kg의 축제가마, 전염병 퇴치와 오곡풍요를 기원하는 가시마 춤, 나가우타야타이 춤 등, 천 수백명으로 이루어진 행렬이 구 도카이도 시마다 역참마을을 행진합니다.



賑わい晴れやかに、 伝統をつなぐ島田の祭り



おせん女踊り

初倉地区に住んでいた、器量のよい娘「おせん」を表現した踊りといわれ、江戸時代から続く伝統芸能です。以前は男性が女装して踊っていましたが、現在は女兒が振袖姿で踊りを披露。毎年10月、天王神社で開催。



島田髷まつり

島田髷を考案したといわれる島田出身の遊女・虎御前をしのぶお祭り。様々な型の日本髪「島田髷」を結び、揃いの浴衣を着た髷娘たちが手踊りをしながら歩く「島田髷道中」の後、鶴田寺で髷供養感謝祭が行われます。毎年9月第3日曜日に開催。

鬼払い

天台宗の古刹・智満寺で行われる伝統行事。正月の法要行事「修正会」の締めくくり(毎年1月7日)に行われ、赤・青・白の鬼を読経で退治し、1年間の無病息災を祈ります。



金谷茶まつり

銘茶の産地・金谷で2年に一度行われる、新茶シーズンの到来を告げるお祭り。茶摘み衣装の「茶娘」と子どもの「豆茶」約1000人による茶娘道中、法被姿の若者による屋台道中、力強い川越し太鼓の演奏などが行われます。4月開催。



大井川大花火大会

大井川の右岸、左岸から同時に花火が上がります。創作花火や尺玉、スターメインなど約8000発の花火が夜空を彩ります。毎年8月10日開催。



野守まつり

昼は和船漕ぎ大会、夜は盆踊り大会や灯籠流し、花火大会が行われます。湖面に映る花火、池に浮かぶ灯籠が幻想的。毎年8月15日開催。